

宇治情報

No.79

(体験集通算 429号)

宝蔵

第六十六回 宝蔵神社孟蘭盆供養大祭中止について

生長の家宇治別格本山 宮司・総務

堀 端 芳 樹

合掌ありがとうございます

新緑のあざやかな初夏の候、宝蔵会の皆様におかれましては、平素より宇治別格本山に格別の御愛念を賜り厚く御礼申し上げます。とりわけ、新年祭や孟蘭盆供養大祭等の宇治別格本山の主要行事では、毎年多くの皆様方がご奉仕を下さり、心より感謝申し上げます。さて、本年も来る八月十七日から十九日にかけて、総裁谷口雅宣先生、白鳩会総裁谷口純子先生をお迎えしての第六十六回宝蔵神社孟蘭盆供養大祭が行われる予定でありました。

しかしながら、現在、新型コロナウイルスや変異ウイルスによる感染が世界規模で拡大し、その影響による混乱はいまだ収まっておりません。

国を挙げてのワクチン接種がすすめられておりますが、治療薬の開発も途中の中、感染拡大の「第五波」を防ぐため、引き続き、三



密(密閉、密集、密接)を回避することが求められています。

こうした中で、全国

各地から多数の招霊祭員や参拝者等が集まり、宿泊を伴って、猛暑の中で行われる、孟蘭盆供養大祭は三密を避けることが困難であります。このような環境のもとで同大祭を開催した場合、クラスター(感染者集団)が発生するリスクが高まることから、甚だ残念ですが本年の孟蘭盆供養大祭は、昨年引き続き中止せざるを得ない事となりました。

皆様方におかれましては、この中止の趣旨をご理解下さり、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。(次頁に続く)



本山員による霊牌合祀祭

書き下さると思います。送られてまいりました霊牌につきましては、大

つきましては、毎年この時期には大祭奉仕員の募集をお願いしておりますが、現状に鑑み本年八月の大祭奉仕員の募集は行わないこととさせていただきますましたので、その旨ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスによる感染拡大による混乱が一日も早く終息し、平安な日常生活を送ることが出来ます事をお祈り申し上げますと共に、皆様方ますますのご健勝、ご発展を心よりご祈念申し上げます。

なお、本年の盂蘭盆供養大祭は中止となりましたが、例年大祭が行われるこの時期には、地元の信徒の皆様が「霊牌」を書かれ、送られてまいります。今年も地元から、多数の霊牌をお

祭の招霊祭に相当する祭典（霊牌合祀祭）を本山員が招霊祭員となり、四回に分けて御祭りを執り行い、全て宝蔵神社の霊殿に祭祀申し上げます。

また、これまでに宝蔵神社に祭祀され一年以上たつた霊牌につきましては、当本山の本部講師・講師補が中心となり、大祭時と同様に、送霊祭「みたまぬきの儀」「霊牌奉送の儀」「浄火の儀」をそれぞれ執り行いまして、すべて浄火いたしますので、ご安心下さい。

八月に執り行う主な祭典予定は、次のようになります。

二日(月)午後二時、
霊牌合祀祭（命日供養祭は繰上げて実施）

九日(月)午後二時、
霊牌合祀祭（命日供養祭は繰上げて実施）

十一日(水)午前十時～十一時
自然災害物故者慰霊塔追悼慰霊月次祭

十三日(金)午前十時、
宝蔵神社月次祭・全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭

十六日(月)午後二時、
霊牌合祀祭

十七日(火)午前五時四十分～六時二十分
送霊祭 みたまぬきの儀
午前七時三十分、
送霊祭 霊牌奉送の儀

十八日(水)午前八時～八時十五分
御神火奉戴の儀
午前八時三十分～十時
送霊祭 浄火の儀
午後一時、
霊牌合祀祭

十九日(木)午前十時、
末一稻荷神社月次祭・精霊招魂神社月次祭

追伸

本年の盂蘭盆供養大祭等は中止となりましたが来年の大祭には、是非ご奉仕いただきますようよろしくお願い申し上げます。

YouTube 早朝行事の

ライブ配信の自動化について

生長の家宇治別格本山理事・練成部長

長 田 忍

合掌ありがとうございます

六月九日生長の家国際本部において「令和三年度の宇治別格本山宝蔵神社盂蘭盆供養大祭および自然災害物故者追悼慰霊祭の開催中止」が決定されました。今年も新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、昨年に引き続き二年連続で大祭は執り行われません、何卒よろしくご了承下さい。

京都府に発令されていた「緊急事態宣言」は、六月二十日に解除されたとは言え、引き続き七月十一日まで「まん延防止等重点措置」が出ています。

国内での新型ワクチン接種も加速してきましたが、新たな変異ウイルスも次々と現れ、いつ国内外のコロナ感染が終息するかも見通せない予断を許さない状況です。

このような状況下にありますので、引き続き講話を再開することが残念ながらできません。

ただ、講話が再開された暁には一人でも多くの方に講話を聴いていただくために、六十五歳以上の方の参加も具体的な感染対策を取っていただくことを条件に、参加していただける方法を検討しております。その時はぜひご参加ください。

早朝行事の自動配信について

先月の情報誌『宝蔵』六月号でお知らせ致しました、早朝行事のYouTube動画による自動配信が七月一日からできるようになります。

課題となっていたアンドロイド版スマートフォンで聴き取りにくかった音声



障害の問題も解消し、聖歌や国歌の音もクリアーに聞こえるようになります。

ぜひFacebook「生長の家宇治別格本山」公式ページからYouTube「生長の家宇治別格本山」公式チャンネルに飛び、自動配信された早朝行事のYouTube動画を視聴してください。

早朝行事の自動配信ができたことにより、練成部職員の配信による負担が軽減されましたので、今後コロナが終息した暁に、いつ練成会が再開されても、練成会に専念できる体制が整いました。

また、これによりご先祖様の鎮まります宝蔵神社神前での早朝行事を末永く配信する基礎ができ、今後も皆さんと一緒に神想観や聖經読誦を毎日行じ続けることができます。

再拝

随想

仕事において 大切なこと

練成部 主任 岡田 浩二

私は五月から、研修生のお世話で体を動かすことの多かった今までと変わり、デスクワークや細かい事務的なことが中心の仕事になりました。警察の最後の年に内勤をしたことがありますが、十五年以上も前の話です。

特に初めのうちは慣れないことも多いのですが、この機会に「仕事をやるにあたって大切なこと」を改めて見つめ直すことができたので、自分なりにまとめてみました。

「神の子について」

生長の家で、仕事をどうこう考える前に「神の子として」ということが大前提だと教えていただきました。本来、自分が素晴らしい神の子であり、他の人も神の子、全ての存在も神の恵みであり、実相においては善一元の神によっ

て導かれているということを観じて悦ぶこと。その上で現象において、自分だけでなく全ての存在が悦べるように世のため人のために、神の子の自分を表現させていた。だからこうと仕事に取り組むことが何よりも大切です。

「どこを見るか」

次に具体的に「どこを見るか」です。私たちはつい現象に捉われ本質を見失いがちですが、実相という言葉だけでは抽象的ではやけてしまいます。どこを見るかが大切です。以前の私は警察の時は市民の方々、整骨院の時は患者さんという、見るべき相手がいたにも拘らず、上司に怒られないかということや、お金のことなど、自分のことばかり考えていました。しかし生長の家に触れてからは、どんな内容の仕事をするにも、見るべき相手すなわち、信徒の皆様、研修生、携わる方々、関わりのある存在のことを想うことができるとなってきました。そんな自分の生長を嬉しく思っています。

また、職場には様々な方がいると思



いますが、同じ仕事をやる限り、見るべき相手やものは同じです。

す。想いが同じだからこそ協力すること、信頼関係を築いていくことができ、大きな力となります。そのことによって、本当の意味で良い職場になっっていくのだと思います。

「何をすべきか」

どこを見るかが明確になると、周りやどうこうではなく、自分のすべきことが見えてきます。落ち着いて、自分の立場、目の前の状況の中で何をすべきか、また何を学ばせていただいているかという気持ちにもなることができます。その中で、携わる方々のお役に立てるために何をすべきか、どう自分を磨いていくか、組織の中でどのように自分を生かせるかを考え、実践していくことが大切だと感じています。

「心を込めて」

そして実際の仕事では、その場その場で「心を込めて」集中します。神の子として生きたときにはその「今」しかありません。愛と喜びと感謝を持って心を込めて生きるとき、過去も未来も、相手や病気のこと等も気になりません。「今」を生きたとき、ただ神の子を表現できたことが尊く、自分が嬉しいのです。その、心を込めようとしたこと、心を込めることができたこと、実際に表現できたことを、自分の生長と悦ぶことが大切です。また、表現できたことは、現象的にも大きな経験となります。さらに、想いは伝わります。携わる方々に、いつか必ず悦んでいただけます。そして「自分が変われば世界が変わる」の言葉の通り、その喜びは拡がっていくのです。

「明るく前向きに」

最後に単純ですが、嫌々仕事をした、仕事に関係のない感情を持ち込んだりせず、せつかくやるのだから、常に「明るく前向きに」ということを意識し

ています。カッコよく言えば「プロとして仕事に徹する」ということなのかなと思います。

実践すると、逆に仕事をするのが嬉しくなっていくことが分かってきました。自分自身が仕事に生かしていただき、仕事に育てられているのだと感じ、仕事への感謝の気持ちも深まるということを実感しています。

以上のように改めてまとめてみると、生長の家の素晴らしさと、自分が生長させていただいたことに感謝の思いが深まります。また、この真理は仕事だけでなく、全ての物事において当てはまることだと思えます。

これからも仕事で（仕事以外でも）、まず自分が神の子として真理を実践していき、自らも喜び、たくさんの方々にも悦んでもいただけるよう精進していきたいと思っています。



霊牌について

- ◎従来通り霊牌はお送りください。
- ◎今年では本山員が招霊を行います。
- ◎締切は **8月13日** 必着でお願いします。

（荷物表紙には「**霊牌在中**」とお書きください。）



ネットフォーラム お礼状

D. C

宇治の講師の方々のお話、皆様方のお話、とても素晴らしい感動させていただきました。

先程のお話で、生長の家を親に反対されてる時に藤原講師から、「親を喜ばせたらんからじゃ」と言われたこと。私の場合は、親にはそこまで反対されてなかったから有り難かったのですが、主人や子供達になかなかわかって貰えてなくて、私が家族を喜ばせ足りなかつたんだ！と気づかせていただきました。ありがとうございます。



これから益々家族を賛嘆し、感謝し、喜びを素直に表現していることと思

ました。

又、御先祖様のお導きと両親のおかげでこうしてご縁を頂けて、ほんとに幸せなことを改めて感じさせていただきました。ありがとうございます。

S. E

ネットフォーラムには初めて参加させていただきました。今日のテーマは長田講師が仰ったように、宇治にピツタリのテーマでした。純子先生のお話、宇治の方々、皆さんの感想を拝聴する中に身を任せるこの時間がとても心地よく懐かしい気持ちになりました。ご先祖様から繋いでもらい、子や孫に繋いでいく生命が何と素晴らしいかというところを改めて噛みしめる機会となりました。

私は「地球は楽しかったー！ありがとうございます」と言つてこの世を卒業すると決めています。そして藤原講

師の霊界のお話が又とても嬉しかったです。今後のネットフォーラムも楽しみにしています。

A. K

素晴らしいお話をいっぱいお聴きして、幸せな気持ちになっています。ご先祖様に、今までもこれからも護っていただいていることに感謝しています。

K. I

素晴らしいネットフォーラム研修を拝聴させていただきました。ありがとうございます。白鳩会総裁谷口純子先生の御講話を始め、皆様の感想や、講師の方々のお話を聞かせていただいて、生き通しの永遠の命をしみじみと心底深く思わせていただきました。「喜んで生きる事が、何よりも供養になる」の御言葉が、心に染みみました。

谷口輝子先生の御言葉で、「泣く暇があれば、人類光明化運動をして、一人でも多くの人を救ってください。雅春先生が、『別れてはいない。次の世でもお会

いしましょう。』とおっしゃいました」に感動と感謝で、こみ上げて来るものがありました。

次の世で、雅春先生に胸を張ってお会い出来るように、精一杯精進させていただきます。

今日は、本当にありがとうございます。

Y. F

合掌ありがとうございます

皆様の体験感想、素晴らしい内容でした。感動しました。ありがとうございます。二〇一九年一月七日に嫁いだ娘が霊界に旅立ちました。夫と二歳になる娘を残しての突然の事でした。亡くなる前の年の暮れからなんとなく何時も違う気がしていました。生き通しの生命ということは知っていました。というより、どのように表現すればいいかわかりませんが、私の生命がすでにわかっていたようにも思います。

今は宇治別格本山の永代供養と霊宮聖使命会員としてお世話になっております。早朝行事の時間、毎月十六日の

先祖流産児
供養祭の時
間の時は宇
治別格本山
に居るよう
に感じます。



ありがとうございます

です。また何時か何処かで娘に会える事を信じて楽しみにしたいと思います。

N. M

合掌ありがとうございます。谷口純

子先生のご講話、宇治の講師の方々とご参加の皆様素晴らしいご感想を拝聴させていただき、感謝一杯感激一杯です。リアルタイムでなくても観れるようにしていただけて嬉しいです。次回も楽しみにしております。

Y. U

ありがとうございます。純子先生の聡明なご講話がありがたく、心にしました。夫が亡くなってから常に「命、生き通し」と信じて来ておりますが、純

子先生のお話で再確認された思いがして涙が出ました。また榎本講師のお話も素晴らしく力強く感じました。

G. R

純子先生のご講話や、久しぶりに宇治の講師の方々のお話を聞く事ができて嬉しかったです。練成に参加できない時も、ネットで宇治の講師の皆様と繋がっていただける事がありがたいです。

K. R

宇治ネットフォーラムに参加させていただき感動しました。純子先生のご動画は我が身に染み入ります。懐かしい長田忍講師はじめ榎本一子講師、清水志郎講師、岡田浩二講師、練成会の中にいるようでした。素晴らしい体験談をありがとうございます。夢のような宝物の時間をありがとうございます。宇治が大好きです。

「宇治別格本山」の お名前をいただく

はじめて宇治の地で生長の家の講習会が行われたとき、谷口雅春先生のお宿にあてられたのが現在の生長の家宇治別格本山智泉荘の前身山王荘であった。



山王荘は、かつて大阪の北浜（現在の大阪証券取引所）で福田將軍といわれた故福田政之助氏が、大正十年頃のその全盛時代に、当時にして数百万の巨費を投じて建設したもので、すべてにおいて贅を尽くし、風雅の限りをつくしたものであった。大正十一年五月二日、英国皇太子殿下が宇治を訪られたとき、この山王荘で休憩、昼食されたという記念碑が今も残っている。

は、ここに泊りになった谷口雅春先生

「ここを買ってはどうか」と言われたのである。

のちにいよいよはっきりした御指示があつて、具体的な買取り交渉に入ることになった。

富豪の名園にして由緒に富む山王荘を買い求めることはなかなかむずかしいはずが、各方面から意外なほどの協力があつて、ことは順調に進んだのであつた。これは生長の家大神の御心が宇治の地に具体的に顕現した証しともいふべきことで、いかにこの地が神靈



山王荘にお泊りになった翌朝、今の智泉荘周辺をお散歩中の谷口雅春先生と輝子奥様

のご加護を受けているかということであつたのである。

講習会二日目の早朝、谷口雅春先生ご夫妻がこの優雅な庭園から山王山の奥域を歩いてまわられたとき、

「ここに生長の家宇治別格本山を建てようと思つた」

とおっしゃり、その時に指さされた場所こそ、現在宝蔵神社本殿の建てられている場所であつたのである。

昭和三十年一月六日、本部に於いて

開催された正月の講習会で、谷口雅春先生は「宇治に宝蔵神社を造り、生長の家所縁の霊を祀ることとする。生長の家で霊の祭りをする所は宝蔵神社一カ所とする。」と仰せられた。

こうしてこの地が、正式に生長の家の所有となり、土地の造成、建設が始められることになったのである。

故徳久克己元理事長は、当時の思い出をこのように記している。

「谷口雅春先生のお伴をして、はじめて宇治へ行った時のことです。随分古い話です。

私達の歩いていたのは山の中の細道で、それは右側は急な小高い丘で左側は三メートルほどのガケがあり、その下が狭い水田でした。その向うは生長の家の持物でない急な山があり、とても道場を建てるような広い場所ではありません。

『先生、大きい道場を建てるような広場はどこにもございませんが…』とお伺いしますと、先生はいとも簡単

に右側の小高い丘を指さされて、『この丘を、その田に埋めればいいよ』といわれました。

私はびっくりしました。なるほど丘を埋めればそこが平地となり、丘の土を田に埋めればそこもまた平地になるので、そこに両方あわせて広い平地ができるわけです。

この谷口雅春先生のお言葉がもとになり、無我献勞することによって無数の奇跡が実現した、なつかしい宇治の



現在の精霊招魂神社辺りの小高い場所から、くぼ地の田んぼ、練成用の修練道場をのぞむ。

献勞練成会がはじまりました」（『宇治だより』より）

昭和二十九年本山敷地内に、先ず本山修練道場が建てられ、献勞練成会により、山を崩してくぼ地を埋めて、平らにする、それを練成会参加者の献勞によって造成しようということになったのである。

献勞練成会の総責任者であった徳久克己本部講師は、後に『聖使命』新聞紙上で次のように述懐しておられる。

「飛田給の練成会に慣れていた私は、果たして献勞による練成会が成果を上げることが出来るであろうか・・・という疑問が心の底に湧いてきた。谷口雅春先生がおっしゃることだから、絶対に間違いない」と信じながらも、なおも「果たして練成会に来た人々を喜んで献勞作業をするような心境に持ってゆけるであろうか？」という心配があった。

一抹の不安の中、その年の九月十一

日から練成会がはじまった。そして、私自身も先頭に立って、献勞をしたのである。

一日、二日、三日、四日と無我になつて働いているうちに何ともいえない、私自身がかつて味つたことのない悦びを味わい、練成にきている一人一人の顔が実に楽しそうに輝き、私の心の底にある疑いはふっとんでしまつたのである。『聖使命』紙昭和二十九年九月二十一日号より)

同『聖使命』紙は、第一面の冒頭に宇治の第一回神性開発練成会の記事を次のように載せている。

「最も信仰的雰囲気をもつ練成会が九月十一日より十日間、京都府宇治市塔の川・生長の家宇治別格本山修練道場で行われた。この宇治における第一回神性開発練成会は、道場建設のための山崩し作業をすることから参加者数が案じられたが、案に相違して多数の参加者があり、しかもそれらの参加者は皆、真に永遠なるものを求めて集まつて来た求道者であるため、信仰に徹



谷を崩して、つるはしをふるって、山を崩して、谷を埋める献勞の様子

した本格的練成会となつた。即ち靈も心も肉体も全てを神に捧げるといふ献勞により、信仰の神髄にふれ、神と偕に生くる純粹なる悦びを体得することが出来たのである。

午前、午後合わせて六時間の献勞があり、また夜は徳久講師の『甘露の法雨講義』(谷口雅春著)についての講話が続けられた。献勞は山の雑草の切り取りや道路の開拓等で徳久部長以下老いも女も病人も皆一体になつて行われた。この激しい労働で全員相当な空腹を覚えたが、何しろ山の中のことでおやつを買い出しに行くこともできず、ジャガイモのおよつもの毎日だった。こ

れを見た地元宇治の白鳩会員たちはいたく感動し、それぞれおやつを運びはじめ、練成会最後の頃は食べ切れぬほどのおやつが届けられていた」

こうして無我献勞による練成会が始まり、すべての人の罪を洗い流し、本来罪もなく病いもない神の子の実相を開頭させてゆくのである。奇跡と呼ぶにふさわしい体験が続出したのである。

(『魂のふるさと宇治』日本教文社刊より)

〈神癒祈願のお礼状〉

心臓の血管手術が成功

U・T (女性)

娘は透析をしておりますが、心臓の血管の三本中二本が詰まっているので、早急に手術を受けるよう勧められました。



彼女の娘の結婚式が遠方であるので、周りも大わらわでした。何もかもが神様のおかげで良いようになり、結婚式にも無事に出席でき安心しております。神様のおかげと、私も喜んでおります。今は、元通りの体調になり、元気に過ごしております。ありがとうございます。

狭心症が完治

S. J (女性)

県外に住んでいる 主人の弟は健康に恵まれ、仕事に明け暮れておりました。六十五歳まで仕事をし、退職後は第二の人生を送っております。病院に行ったことがないため、健康に過信



していた義弟は、毎日好きな物を好きなだけ食べていました。その結果突然、

狭心症になり、一時は命も危ぶまれるほどでした。一年ほど入院を繰り返したと聞き、すぐに神癒祈願をお願いしました。

四月に検査したら、狭心症は完全に治っていると、義弟から連絡がありました。病院からお墨付きをもたらすと喜んでおりました。全国的にコロナが蔓延している中、祈願していただき、唯々感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。皆様方の益々のお幸せ、ご活躍をお祈りいたしております。

安産で母子共に健康

K. T (女性)

娘は結婚してすぐに神の子さんを授かりました。初めのうちは、つわりがひどくて、安産の神癒祈願をお願いしておりました。先祖供養の霊牌も書かせていただきました。おかげさまで順調な毎日を送り、無事、出産することができました。出産後も母子ともに健

康で、神様、ご先祖様に心から感謝しております。これからも夫婦円満で、明るく子育てができるよう、神癒祈願を続けさせていただきます。

娘の鬱が良くなりました

N. W (女性)

娘は大学に受かり、一人暮らしを始めましたが、不眠から朝起きるのがつらくなり、うつ病の診断を受けました。この四月地元に戻ってきました。

地元の大学に入り直して、家から通うことで、夜も眠れるようになり、薬は飲んでいますが、元気になった娘を見て、お医者様もびっくりしています。コロナ禍による遠隔授業も幸いしました。家族全員が聖使命会に入り、数年前から神癒祈願をお願いしていることで、良い方向に向いています。

これからも神癒祈願を続けさせていただきます。神様のお護りに心から感謝しています。

◆ オンラインによる対面個人指導（無料）を行います ◆

※ご希望日の3日前までにはお申し込みください。

時間：9：20～12：00・13：00～16：00

担当講師：長田忍本部講師・清水志郎本部講師・榎本一子本部講師補
岡田浩二本部講師補・田野靖彦本部講師補

（担当講師のご希望はお受けできません）

条件：zoom かメッセージをご自分で繋げられる方

お申込み方法：メール rensei@uji-sni.jp または Facebook 練成部ページへ
メッセージでお名前（ふりがな）・電話番号・ご希望日時を
ご送信ください。



担当講師等、こちらより返信いたします。



7・8月練成会案内

練成会は

令和3年8月

まで中止です

一般練成会

7月14日（~~中止~~）～20日（火）

子供の笑顔を育てる子育て練成会

7月23日（~~中止~~）～25日（日）

短期練成会

7月30日（~~中止~~）～8月1日（日）

再開につきましては
ホームページ又は
Facebook・お電話で
お問い合わせください



7月宇治別格本山で行われる行事

- 11日（日）10：00～ 自然災害物故者慰霊塔月次祭※無参列
- 13日（火）10：00～ 宝蔵神社月次祭（ライブ配信）※無参列
- 19日（月）10：00～ 全国産児無縁霊供養塔供養月次祭※無参列
- 末一稻荷神社月次祭・精霊招魂神社月次祭※無参列



宗教法人生長の家宇治別格本山
京都府宇治市宇治塔の川 32
Tel.0774-21-2151
www.uji-sni.jp/

ISO 14001 認証取得



この印刷物は古紙配合の再生紙を使用し、自然にやさしい大豆油インクで印刷しています。